



UCS Server Configuration Utility のユーザ インターフェイスについて

UCS-SCU GUI は、オペレーティング システムのインストール、RAID 設定、ファームウェアの更新などのタスクを実行できる Web ベースの管理インターフェイスです。

ここでは、次の内容について説明します。

- [ライセンス契約書\(3-1ページ\)](#)
- [UCS-SCU GUI ホーム ページ\(3-1ページ\)](#)

ライセンス契約書

UCS-SCU が起動したら、最初のインターフェイスは、エンド ユーザ ライセンス契約です。[I Accept] を選択して [Next] をクリックし、このライセンスに同意します。

UCS-SCU GUI ホーム ページ

図 3-1 に UCS-SCU GUI および GUI のさまざまな要素を示し、表 3-1 に各要素の説明を示します。

図 3-1 UCS-SCU GUI

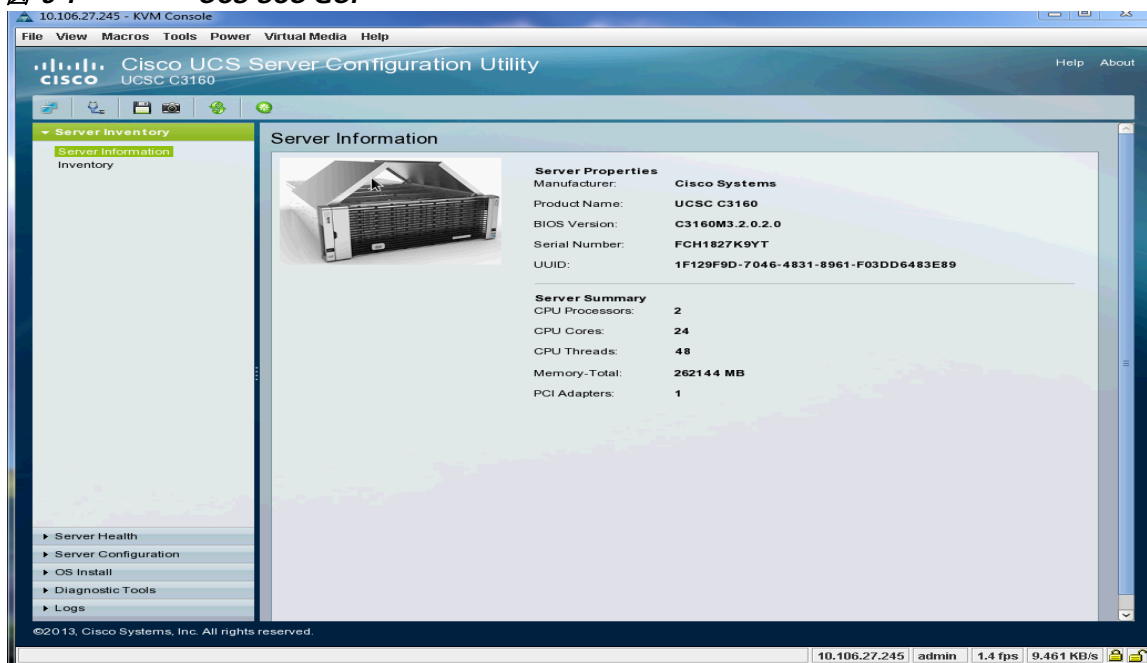


表 3-1 UCS-SCU GUI の要素

要素	説明
[Navigation] ペイン	UCS-SCU のユーザ インターフェイスの左側に表示されます。すべてのナビゲーション ペインの要素の説明については、表 3-2を参照してください。
ツールバー	左上隅に表示され、一連のアイコンがあります。すべてのツールバー アイコンの説明については、表 3-3を参照してください。
Help	表示されたページの状況依存ヘルプを表示するアプリケーションのウィンドウを開きます。
\[Content\] ペイン	GUI の右側に表示されます。[Navigation] ペインで選択したタブに応じて、異なるページがコンテンツ ペインに表示されます。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [ナビゲーション ペイン \(3-3 ページ\)](#)
- [\[Toolbar\] ペイン \(3-3 ページ\)](#)

ナビゲーションペイン

表 3-2 で、[Navigation] ペインの要素について説明します。

表 3-2 [Navigation] ペインの要素

要素	説明
Server Inventory	<p>サーバの情報およびインベントリを表示します。</p> <p>次のページへのリンクがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Server Information • インベントリ <p>サーバインベントリの詳細については、第 4 章「サーバインベントリの表示」を参照してください。</p>
Server Health	<p>CPU、メモリ、電源、ファン、ストレージ、PCI デバイス、BIOS、および CMC などのサーバのサブシステムの状態を表示します。</p> <p>サーバヘルスの詳細については、第 5 章「サーバヘルスの表示」を参照してください。</p>
Server Configuration	<p>サーバに取り付けられたハードドライブの RAID ボリュームを設定します。</p> <p>RAID 設定ページへのリンクが含まれています。</p> <p>サーバ設定の詳細については、第 7 章「RAID レベルの設定」を参照してください。</p>
OS Install	<p>完全無人モードで RHEL、SLES、Windows、および ESXi オペレーティングシステムをインストールします。すべてのオンボードコンポーネントの最新のドライバが、オペレーティングシステムのインストール時に Tools and Drivers CD またはその他のサポートされている場所から追加されます。</p> <p>OS インストールの詳細については、第 6 章「オペレーティングシステムのインストール」を参照してください。</p>

[Toolbar] ペイン

表 3-3 で、特定のタスクを実行するために使用できるすべての UCS-SCU アイコンについて説明します。

表 3-3 ツールバーの要素






ツールバー アイコン	名前	機能
	ネットワーク設定	IP アドレス、DNS、サブネットマスク、および Cisco.com の資格情報を設定します。
	Probe Server	ヘルスチェックを実行します。

表 3-3 ツールバーの要素 (続き)

ツールバー アイコン	名前	機能
	Save Logs	USB にログを保存します。
	Refresh	サポートされている場合、コンテンツ領域を更新します。
	Reboot	サーバを再起動します。

ここでは、ツールバーの要素について詳細に説明します。

- ネットワークの設定(3-4ページ)
- サーバヘルスチェックの実行(3-5ページ)
- ログの保存(3-5ページ)
- サーバのリブート(3-5ページ)

ネットワークの設定

ネットワークを設定するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ツールバーの [Network Configuration] ボタンをクリックします。

[Network Configuration] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 [Network Configuration] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- [IP Address from DHCP server] または [Static IP Address] を選択します。[Static IP Address] を選択した場合は、次の手順を実行します。
 - [IP Address] フィールドに、IPv4 アドレスを入力します。
 - [Subnet Mask] フィールドに、サブネットの IPv4 アドレスを入力します。
 - [Gateway] フィールドに、ゲートウェイ IPv4 アドレスを入力します。
 - (任意) [DNS] フィールドに、DNS の IPv4 アドレスを入力します。



(注) cisco.com からソフトウェアおよびドライバをダウンロードする場合は、手順 b. に進みます。

- [Direct Connection to internet] または [Manual Proxy] を選択します。[Manual Proxy] を選択した場合は、次の手順を実行します。
 - [HTTP Proxy Server URL] フィールドに、プロキシサーバの URL を入力します。最大文字数は 45 文字です。

- [Port] フィールドにポート番号を入力します。最大文字数は 5 文字です。デフォルトでは 8080 です。
- [Proxy Server UserName] フィールドに、プロキシ サーバのユーザ名を入力します。最大文字数は 45 文字です。
- [Proxy Server Password] フィールドに、プロキシ サーバのパスワードを入力します。最大文字数は 45 文字です。

ステップ 3 設定を保存するには、[Configure] をクリックします。

ネットワーク設定は 1 度だけ実行するプロセスであり、ネットワークを設定しない場合、次の手順の実行中に設定するように求められます。

- Cisco Flexible Flash にイメージを更新するとき。
- オペレーティング システムのインストール時に、ネットワーク共有または [cisco.com](#) からドライバをダウンロードするとき。(「[オペレーティング システムのインストール](#)」セクション (6-1 ページ) を参照)。

サーバヘルス チェックの実行

Probe Server 機能では、サーバサブシステムのヘルス チェックを実行できます。[Probe Server] アイコンをクリックすると、サーバヘルス チェックが開始されます。

ヘルス チェックの結果を表示するには、ナビゲーション ペインの [Server Health] タブをクリックします。

[Server Health] タブの詳細については、[第 5 章「サーバヘルスの表示」](#)を参照してください。

ログの保存

Save Logs 機能を使用してログ ファイルを保存できます。Save Logs を使用する前に、ログ ファイルを保存するための USB フラッシュ ドライブまたは vMedia を挿入する必要があります。

サーバのリブート

サーバをリブートするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ツールバーの [Reboot] アイコンをクリックします。

[Reboot] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2 [Yes] をクリックしてリブートします。

サーバがリブートし、UCS-SCU GUI が再表示されます。
